

# 放射線量測定器の使い方

## 1 測定器

環境放射線モニタ ラディ



## 2 取扱い

- ① 測定器は精密機器ですので、落としたり、乱暴な取り扱いほしないようにしてください。
- ② 測定器に泥などが付着すると正確な値が表示できなくなる可能性がありますので、必ずビニール袋をかぶせたままで使用してください。  
(測定する放射線はビニールを透過しますので測定値に影響はありません。)  
明らかに泥や砂で汚れてしまった場合、ビニール袋を交換してください。
- ③ 数字の右上のマークは、電池の残量になります。黒い■がなくなると電源が切れます。その場合は、コインなどで裏のネジをはずし、単三電池（マンガン電池、アルカリ電池）2本を入れ替えてください。
- ④ 測定器は、3時間使い続けると電池が切れます。その際は、再度電源を入れてください。
- ⑤ 使用後は必ず、電源を切ってください。

## 3 使い方

- ① POWER ボタンを0.5秒長押しし、電源を入れます。
- ② 電源が入り、3.5から数字がだんだん小さくなり、3.5秒経過したら準備完了です。これで計測できる状態になっています。
- ③ 10秒後に次の測定値が表示されます。
- ④ その後、10秒毎に測定値が表示されます。

## 4 測定及び記録

- ① メジャーなどで測定高さを確認しながら、測定地点の地表面から1cm、1m（小学生以下の子どもが利用する場所は50cm）の高さで測定します。
- ② 測定高さを確認したら、測定器を手のひらに保持してください。
- ③ 測定高さに測定器を保持した後、1分間（10秒ごとに表示される6回分の数値は保持する間の移動分の値が含まれるため）記録せず、1分後（7回目）から10秒ごとに表示される値の5回の平均値を測定値として記録します。

## 5 測定結果の提出

測定結果の最高値を、「常陸太田市放射線量測定器返却届兼測定結果報告書」に記入して提出をお願いします。

## 6 問合せ先

常陸太田市放射能対策室 72-3111（内線 180、181）

# 放射線量測定器（ラディ） Q & A

※ラディ取扱説明書から引用

## 1 ラディは何を測っているのですか？

ラディは、 $\gamma$ （ガンマ）線という放射線を測定するモニタです。 $\gamma$ 線は、テレビ・ラジオの電波やレントゲン撮影に使われるX線の仲間です。物を通りぬけやすい性質を持っています。

## 2 ラディを動かしていないのに、値が変わるのはなぜですか？

その場所の放射線の量がわずかに変化しているためです。何回か測定して平均すると、信頼できる値になります。

## 3 ラディを置く場所や向きは測定値に影響しますか？

自然放射線はいろいろな方向からきますので、自然放射線を測定するときには、ラディを置く場所や向きは気にしなくてもかまいません。水平に置くか、手に持つだけで大丈夫です。

## 4 電源を入れたけど、35、34、33と数字が表示されるのはなぜですか？

電源を入れた直後の約35秒間、液晶表示部には数字がカウントダウン表示され、測定値は表示されません。その間、ラディは測定しながら平均値を測定しています。

## 5 表示の値が変わらないのはなぜですか？

ラディは10秒ごとに新しい測定値を表示しますので、同じ値が連続して測定された場合には、表示値が変わらないように見えます。

## 6 雨が降ると表示の値が高くなるのはなぜですか？

一般に雨が降ると表示値は高くなる傾向があります。

## 7 測定器から、「ピピッ」「ピピピ」のような音が聞こえるのはなぜですか？

本体のBUZZER（ブザー）ボタンを押すと、測定器が放射線を感知するたびに発音します。再度ブザーボタンを押すことで音は消えます。（故障や警報音ではありません。）

## 8 測定値の上限はいくつですか？

この測定器では、 $9.999 \mu\text{Sv/h}$  が計測の上限となり、その値を超えると数字が点滅してオーバーフローしていることを示します。一度オーバーフローすると、1分間表示は戻りません。